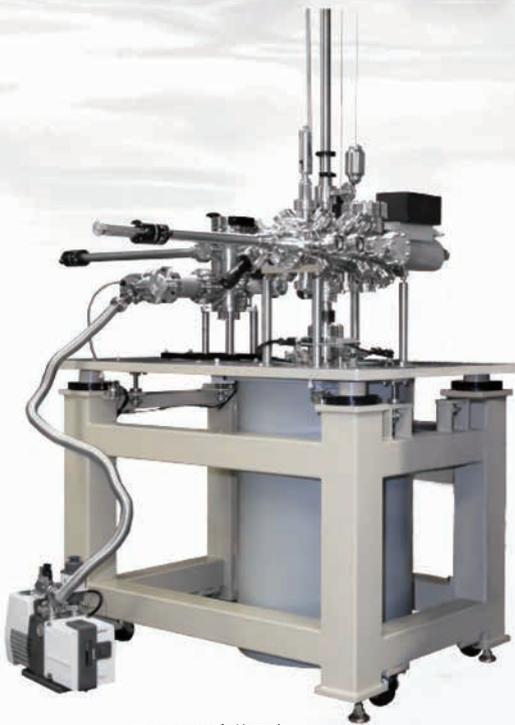


超高真空極低温強磁場中走査型プローブ顕微鏡システム

USM1500

USM1300型をコンパクトにした 極低温強磁場対応SPMのミドルエンドモデル新登場！

全高が低く(3m)、操作性とコストパフォーマンスに優れた新型極低温(4.2K以下)強磁場対応(オプションで8Tまで対応可)走査型プローブ顕微鏡(SPM)システムです。AFM測定もオプションにて対応可能です。



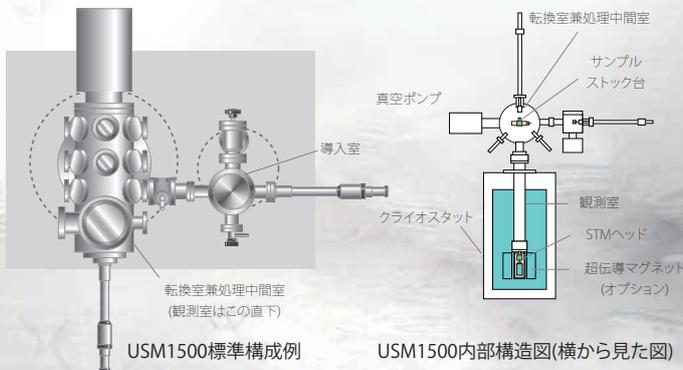
USM1500全体写真

特長

- 強磁場中でAFM測定が可能(オプション)
- 抜群の安定性、高分解性を保証
- オプションで8Tまでの磁場印加可能
- 全高が低く(約3m)、研究室のピット工事、天井工事が不要

用途

- 極低温下の超電導現象、電子エネルギー構造の観測
- 原子・分子の高分解能観測
- IETSによる分子運動の観測
- 強磁場中STSによるスピン応答の観測
- 高周波導入によるスピン共鳴計測への応用
- 高分解能磁気構造の観測、スピン偏極STM



USM1500標準構成例

USM1500内部構造図(横から見た図)

SPMヘッド	
最大スキャン範囲(X×Y×Z)	1.7 × 1.7 × 0.54 μm ³ @ 4K
分解能	原子分解能
到達温度	2 K 以下
真空度	
転換室兼処理室	3.0 × 10 ⁻⁶ Pa、導入室 1.3 × 10 ⁻⁵ Pa
STMコントローラ	
Nanonis™ コントロールシステム	
オプション	
AFM機能	チューニングフォーク式NC-AFM
超伝導磁石	最大 8T(オプション: 12 T、2-2-9 T vector)

株式会社 ユニソク

E-mail: info@unisoku.co.jp Web site: <http://www.unisoku.co.jp/>

本社・研究所 〒573-0131 大阪府枚方市春日野 2-4-3 TEL 072(858)6456 FAX 072(859)5655

20180608